

令和2年 第6回

仙北市教育委員会定例会会議録

令和2年4月16日

仙北市教育委員会

令和2年 第6回 仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 令和2年4月16日(木) 午後2時00分

2 場 所 角館庁舎西側庁舎2階 第3会議室

3 出席委員

教育長	熊谷 徹
教育長職務代理者	安部 哲男
委員	坂本 佐穂
委員	橋本 勲
委員	細川 伸也

4 出席した事務局職員

教育部長	佐藤 義一
教育次長	三浦 政喜
教育次長兼教育総務課長	朝水 勝巳
教育次長兼生涯学習課長	佐々木 幸美
教育次長兼スポーツ振興課長	高橋 徳夫
教育次長兼文化財課長兼平福記念美術館長	富木 弘一
学習資料館・イベント交流館長	藤原 真栄
北浦教育文化研究所長	米澤 孝子
総合給食センター所長	千葉 幸仁
田沢湖公民館長	高橋 良宣
角館公民館長	佐々木 勇人
西木公民館長	保坂 博明
市民会館長兼田沢湖図書館長	佐々木 信介
総合給食センター参事	真崎 智明
平福記念美術館参事	松橋 幸太郎

5 議事

(1) 報告事項

報告第23号 仙北市就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱の制定について
報告第24号 仙北市アートプロジェクト推進事業審査会委員の委嘱について
報告第25号 仙北市地域学校協働活動推進員の委嘱について
報告第26号 第2次仙北市子ども読書活動推進計画策定について
報告第27号 仙北市教育行政報告について

6 審議の経過及び結果

(熊谷教育長)

ただいまから、令和2年第6回仙北市教育委員会4月定例会を開催いたします。

それでは、本定例会の出席委員、職員を紹介いたします。

－出席委員、職員を紹介－

会議書記には湯澤課長補佐を任命いたします。また、議事録署名員は、私と委員からは、坂本委員を指名いたします。なお、前回会議録の承認については、会議終了後をお願い

いたします。

(熊谷教育長)

私の挨拶として3点申し上げます。新型コロナウイルスについて、特に大変なウイルスということで世界中で大変な状況が続いております。秋田県内でも秋田市、由利本荘市、にかほ市、井川町、湯沢市、羽後町、東成瀬村が小中学校は全部、休校になっております。それから、休校にならなくても部活、スポ少が休止になっているところもあります。仙北市の場合は、部活、スポ少も含めて平常通りの授業をしているというふうな現状であります。もし何かあった場合、感染者が出た場合に、もちろんすぐ対応しなければならないわけですが、非常に危機的な状況が続いている現状であります。教育委員会の社会教育施設につきましてもかなり閉館などしておりますが、一部空いているところもあります。この後17日に新型コロナウイルス対策本部がありますので、その場できちとした形で決めていくのではないかなというふうに思っています。いずれ何とか仙北市、特に子ども達の中から感染者を出したくないし、もちろん教育委員会職員も含めて市役所職員の中から出さないように私ども最大限、力を出していかなければと思っています。ただ、ありったけの力を尽くしてもなおかつ出してしまったとなればこれはこれで仕方のないことで、その後のことをしっかりやっていけば良いのではあります。やっぱり不要不急の外出を控えるということがその大前提ですので、私は校長先生方にはとにかくそういうところに行かないように、先生方に徹底してくださいと、行ったら戻ってきたら14日待機してくださいと、それは先生方をお願いしております。市役所職員もそういう気持ちでいかなければと思っていますけれども、何とか最大限の努力をよろしくお願いしたいと思います。それから、まず心配されるのはこの後、去年140万人が来た桜まつりのお客さんがおそらく今年はそれでも10万人ぐらい来るのではと観光協会でも予想しておりましたけれども、そこに子ども達が行くことです。子どもたちにはとにかく人混みに行かないように、それを徹底していかないと、ちょっと触れ合っただけでももしかすれば移る可能性がありますので、そういうのも含めてですね、何とか最大限の努力、これから連休終わるまで5月6日までしていかなければならないなと思っていますところあります。

二つ目でありまして、新任校長5人、それから角館小学校、中川小学校が統合したわけで、ここ数日、学校訪問をさせていただいております。感じているのは、校長先生が大変張り切っていること、非常に澁刺としていて良いなと思っています。それから先生方もやる気のあるような感じと言えばおかしいですがそんな感じしました。私たち学校訪問で訪問しますと、ひょっと入っただけで何かその雰囲気というか感じるんですね、というのも何となく学校が生き生きしてるなど。それと特に心配しているのは中川小学校が角館小学校と統合して子ども達同士がそれが一番心配で、三浦次長は朝の中川の出発する子ども達を見に行ってくれたりしていますけれども、いずれ校長先生を含めて先生方かなり細心の注意をしながら当たっているんですけども、中川地区の子ども達、元気にやっております。そういう面で何とかいじめなんかはもちろん絶対許されないことなんですけれども、そういうことも含めてですね、しっかり子ども達に角館小学校の方に慣れてくださればなあというふうに思っていますところ。です。

三つ目でありまして、数日前にある方から教育委員会良いですねと言われました。私、4月1日の訓話の中で第一にホスピタリティとかあいさつとか、そういうのちゃんとやっぺいこうじゃないかとお話し申し上げました。そういうこともあるかもしれませんが、非常になんか感じが良くと、教育委員会に入ってくると雰囲気が良いそうです。ぜひですね、来訪者、業者も含めて来訪者に温かい対応を、良いな、さすが教育委員会だなと言われる対応を続けていただきたい。それからいろんな施設、どうか皆様にも各施設の来訪者に対して良い雰囲気を与えるような対応をよろしくお願いしたいと思います。今年も

オール教育委員会です、一生懸命頑張ってもらいたいと思いますのでどうか教育委員の皆様にもよろしくお願ひしたいと思います。

(熊谷教育長)

次に4月の事務報告をさせていただきます。

－資料により報告－

(熊谷教育長)

4月の事務報告に質問はありませんか。

－質問なし－

(熊谷教育長)

それでは、議事に入ります。報告第23号仙北市就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱の制定について説明を求めます。

(朝水教育次長)

報告第23号仙北市就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱の制定について、別紙のとおり制定するものです。3ページをご覧ください。国の方の単価改正に伴いまして、市の方もあわせて単価を変更するもので、大体1%前後の増加となっております。4ページに古い給付制度を載せていますけれども、大体1%前後値上げとなっております。続きまして5ページをご覧ください。支給申請書になりますが、以前のもので次のページにあります元号を平成と最初から謳っておりましたので、元号を取ることと生年月日等をこれから令和も出てくるかと思われまので、令和も足されたという形に変更になっております。続きまして、7ページをご覧ください。こちらの提出資料につきましても提出年月日の元号を平成と謳われていたものを、平成を削除した形になっていまして、また調査事項につきましても若干増えたところ、国にあわせて増やしております。

(熊谷教育長)

報告第23号について、質問はありませんか。

(安部教育長職務代理者)

支給代表者の、資格はどこを見れば分かりますか。

(朝水教育次長兼教育総務課長)

その要件につきましては、添付書類が必要になってきますので、7ページをご覧ください。例えば、生活保護を受給されてるかしてないかなど、生活保護を停止または廃止されていないか、そのようなこと、所得に関するいろいろな資料を見させていただいて要保護、準要保護を決めて支給しているということでございます。

(安部教育長職務代理者)

決定するときはこの機関で審査とかあるんですか。

(朝水教育次長兼教育総務課長)

それはこちらの教育総務課で基準に合せて、それより下回っている場合はこれでよろしいかと決裁をもらっています。

(安部教育長職務代理者)

何か前例とか見てですか。

(朝水教育次長兼教育総務課長)

基準の金額、計算式がありまして、それに合わせてですね。

(安部教育長職務代理者)

まず、誰でも申請はできることですね。

(朝水教育次長兼教育総務課長)

はい。

(坂本委員)

昨年度は大体何人ぐらいか。
(朝水教育次長兼教育総務課長)

数年前ほどで100人ちょっとはいましたので、大体そんなには変わってはいないと思います。

(坂本委員)

これは毎年の申請ですか。

(朝水教育次長兼教育総務課長)

所得によって対象になるかならないかで、毎年の申請です。

(熊谷教育長)

次に報告第24号仙北市アートプロジェクト推進事業審査会委員の委嘱について説明を求めます。

(佐々木教育次長兼生涯学習課長)

それでは、議案綴の9ページをご覧ください。報告第24号仙北市アートプロジェクト推進事業審査会委員の委嘱について、別紙のとおりご報告いたします。次のページをご覧ください。こちらは令和2年4月1日から令和3年3月31日までを任期とする審査会の委員13名の名簿となっております。ナンバー1から3までの3名ですが芸術文化等のイベントに精通する市民としてこれまで本部の事業の推進チームの一員として協力をいただいている方々でございまして、氏名等は記載のとおりであります。4番以降につきましては、関係機関に所属する市の職員及び担当職員となっております。委嘱状の交付日につきましては、現在、4月から6月までこのアートプロジェクトの事業提案の募集期間となっておりますので、7月開催予定の第1回審査会を予定しております。以上、報告第24号の説明を終わります。

(熊谷教育長)

ただいまの報告第24号について質問はありませんか。

—質問なし—

(熊谷教育長)

次に報告第25号仙北市地域学校協働活動推進員の委嘱について説明を求めます。

(佐々木教育次長兼生涯学習課長)

資料の11ページをご覧ください。報告第25号仙北市地域学校協働活動推進員の委嘱について、別紙のとおりご報告いたします。次のページをご覧ください。こちらは令和2年4月1日から令和3年3月31日までを委嘱期間とする推進員7名の名簿となっております。前年度まで中川小学校協働本部の推進員として活動されておりましたナンバー3の黒澤福子さん、ナンバー4の黒沢春美さんには今年度から角館小学校協働本部の推進員として引き続き活動していくことで承諾をいただいております。1番から6番の方々につきましては、記載の学校で活動していただくこととなっておりますが、一番下の7番の齋藤隆伸さんにつきましては今年度新たに設置される桜木内小学校、桜木内中学校、一貫とする桜木内地区地域学校協働本部「ひのき清流会」の推進員として両校と地域の懸け橋となり協働活動をお願いすることとなりました。齋藤さんは桜木内及び上桜木内地区のコミュニティと地域活力の向上を目的とする「ひのき清流会」の会長として桜木内地区の小中学校や地域の活性化に積極的に取り組まれている方です。今年、2月に紙風船館で行われた「ひのき清流会」定例会議におきまして、推進員の新任について全会一致で承認され、このたびの委嘱となるものです。今年度、この他にも協働本部の設置を予定している残りの西明寺小学校、白岩小学校にはこの後それぞれの学校と連携しながら進めて参りますが、新たな推進員の委嘱が決まりましたら、その都度定例会等を通じて各委員の皆様にご報告いたします。以上、報告第25号の説明を終わります。

(熊谷教育長)

ただいまの報告第25号について質問はありませんか。

—質問なし—

(熊谷教育長)

次に報告第26号第2次仙北市子ども読書活動推進計画策定について説明を求めます。

(佐々木教育次長兼生涯学習課長)

13ページをご覧ください。報告第26号第2次仙北市子ども読書活動推進計画策定について、別冊のとおり作成しましたのでご報告いたします。こちらは令和2年度から6年度までの5年間を計画期間とする第二次推進計画となっております。本計画策定に当たっては、第一次計画の取組や成果、現状の課題を検証するとともに、子どもの読書活動を取り巻く社会状況等の変化を踏まえまして、子どもが自主的に読書に向かうことができるよう、読書の楽しさ大切さを伝え、子どもがより良く生きていく力を育てられるよう仙北市全域に本計画が推進されますよう関係機関が連携しまして一体的に取り組んで参りますので教育委員の皆様におかれましては引き続きご指導ご鞭撻をよろしくお願いたします。以上、報告第26号の説明を終わります

(熊谷教育長)

ただいまの報告第26号について質問はありませんか。

(橋本委員)

今回の活動推進計画で小中学校の学校図書館の新聞配置を整えることが不可欠と書いていただきましたので、これを有効に活用されるようによりしくお願いしたいと思います。

(佐々木教育次長兼生涯学習課長)

今、橋本委員からお話がありましたように、この計画の確実な履行に向けて一生懸命頑張ってお参りますのでよろしくお願いいたします。実際の計画書は後ほど配付させていただきます。

(熊谷教育長)

ただいまの報告27号について質問はありませんか。

—質問なし—

(熊谷教育長)

次に報告第27号仙北市教育行政報告について説明を求めます。

(佐藤教育部長)

それでは資料の11ページになります。報告第27号仙北市教育行政報告について、これにつきましては、連休明けの5月8日に令和2年第4回仙北市議会臨時会が開催される予定となっておりますので、これについて報告させていただきます。教育行政報告の1ページをご覧ください。

令和2年第4回仙北市議会臨時会の開会にあたり、主な事項について、ご報告させていただきます。

【教育総務課】

◇新年度のスタートについて

市内の小・中学校11校は、4月6日に始業し、7日から9日にかけて入学式が挙行されました。小学校6校の児童数が964人（前年度1,024人、前年度比60人減）、中学校5校の生徒数が572人（前年度592人、前年度比20人減）、計1,536人（前年度1,616人、前年度比80人減）で新年度がスタートしました。

なお、4月1日より中川小学校と角館小学校が統合した新生角館小学校では、始業式に先立ち統合式を開催しています。

新型コロナウイルス感染の拡大防止に向けて、統合式、始業式、入学式ともに内容を精

選し、縮小した形での実施となりました。

◇全国学力・学習状況調査の延期について

4月16日、全国の国・公・私立の小学校6年生、中学校3年生を対象に実施が予定されていた全国学力・学習状況調査は、国内の新型コロナウイルス感染状況に鑑み、実施期日が延期になっています。

◇仙北市学校適正配置について

学校適正配置対象校となっている桧木内中学校と西明寺中学校の統合につきましては、今年度以降も保護者や地域住民と協議を継続していく運びになっています。併せて、桧木内中学校の少人数によるデメリットの軽減を図るために、近隣の中学校との学校間交流を積極的に推進していきます。

【総合給食センター】

◇総合給食センターについて

4月6日、市内小中学校の始業に伴い、総合給食センターから各学校へ給食の提供がスタートしました。

新しい給食センターでは、米飯を全て仙北市産の「あきたこまち」を使用し、炊きたての温かいご飯を提供しています。児童生徒からは、とてもおいしい給食と喜ばれ好評を得ています。

また、衛生管理体制も整備し、秋田県版 HACCP(ハサップ)(秋田県食品自主的衛生管理認証制度)の承認を取得し、安全安心で心のこもったおいしい給食の提供に努めていきます。

【学習資料館・イベント交流館】

◇フェアブル昆虫記を訳した 椎名其二展について

昨年10月29日から今年4月3日まで開催しました「フェアブル昆虫記を訳した 椎名其二展」に引き続き、展示内容を更新して「虫たちも騒つく 日本語訳」と題した「フェアブル昆虫記を訳した 椎名其二展」を4月11日から開催しています。会期は7月15日までです。

【文化財課】

◇武家屋敷公開事業について

4月10日から重要伝統的建造物群保存地区の「岩橋家」「河原田家」「小田野家」と同地区外の「松本家」の公開を始めています。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部公開制限をしながら庭だけの公開としていますが、今後も状況を見ながら対応していきます。

なお、河原田家については、年次計画で修復工事を行うことになっており、今年度は土蔵の改修工事を行います。工事期間中は安全対策のため公開を制限しますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

【角館町平福記念美術館】

◇「春のコレクション展」について

4月18日から5月31日まで開催する、企画展「春のコレクション展」は、これまで平福記念美術館が収集した作品に加え、開館以来30年に渡り多くの芸術家の方や、美術愛好家の方からご寄贈いただいた作品の中から、「春」をテーマとしたものを中心に、日本画、洋画、写真、イラスト等の作品を選んで展示します。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策のため、会期の変更や臨時休館等の対応が必要になる場合も考えられますが、その際はご理解いただきますようお願いいたします。

以上、教育行政に関する報告を申し上げ、教育行政報告といたします。ということでございますが、所々に注意書きしておりますが、教育長が冒頭であいさつの中で申し上げました新型コロナウイルス対策本部会議が明日開かれる予定になっております。この中で

は、不特定多数の方々が訪れる公共施設の在り方について検討される予定となっておりますので、ただ今報告申し上げた内容と若干変わることがあるかもしれませんのでご承知おきいただきたいと思います。

(熊谷教育長)

ただいまの説明に対して質問はありませんか。

(千葉総合給食センター所長)

総合給食センターについてですが、秋田県版の HACCP(ハサップ)の認証についてですけれども、承認を目指しておりということで訂正どうかよろしく願いいたします。実際は10月以降の予定で進めていますのでよろしく願いいたします。

(橋本委員)

給食センターですけれども、順調にスタートできて大変良かったと思います。所長や担当の皆さん、準備大変ご苦労さまでした。今後もよろしく願いいたします。

(安部教育長職務代理者)

仙北市学校適正配置について、白岩小学校は例の方針は該当していなかったのかどうか確認できなかったことが1点目、もう1点が桜木内中学校と西明寺中学校の統合につきましては地域協議を継続していくというふうに書いておりますので、教育長としては継続していくということがこれを受けてという意味があるのか、それともただ話し合いをしているのか、そこら辺はやっぱり議員の方々は質問があると思うので、ただ協議していますでは、教育委員会ではどうしたいのかと言われることになると思うので、いずれ報告をする前にきちっとしておいた方が良くはないかなと思います。

(三浦教育次長)

白岩小学校についてありましたけれども、今年度はまだ検討対象校には入らない状況です。2年後ぐらいからはという感じです。

(熊谷教育長)

2点目につきましては、私どもといたしまして、もちろん教育委員会の総意で、去年、一昨年とあの通り頑張ったわけなんですけれども、残念ながら、残念と言ったらいいんですか、なかなかというふうな状況でありました。十分にこちらの教育委員会の中で再度、いろんな形でいろんな面から大所高所から含めて検討しながら、やっぱり私は統合を目指すというふうな思いは変わっておりません。まず皆さんもあの場の意見では、いずれというふうな雰囲気もありましたし、それを含めながらいきたいと思います。皆さんのご意見をしっかり伺います。

(安部教育長職務代理者)

昨年度の状況では、今の委員の方々はいろいろあるんだけれども、賛成の方向で話し合いに臨んだんだけど、なかなか理解してもらえなかったということでしたので、こっちももう1回話し合いがあると思うけれども、教育長としてはそういう方向で統合を目指していくというふうなことであればそれはそれで私は賛成です、意見を問われればですね。あくまでも引き続き同じ考えでいくのは良いんですけども、実際分かってもらえるのは難しいんですけども。市民の皆さんも気になっていると思うので、その辺りはむしろ理解を深めてもらえるように話し合いを進めているという形でいった方が、これは私の意見です、議会でも理解をしてもらえるのでは。ただ話し合いをしますではちょっと人任せになってるのでは。

(熊谷教育長)

委員会でも本当に何回も協議に協議を重ねていただきましたけれども、やっぱり子ども達のことを考えた場合に子ども達の健全な成長、切磋琢磨して力をつけさせるには統合というのは適正規模というのが必要ですので、その原則に立ちながら話し合いを継続してい

く。やはり目指すところはそこでありますので、子ども達の成長のためにやっぱり統合だ
と思います。ただ、そこは慎重に進めて参りたいと思います。

(安部教育長職務代理者)

そういう意味でも、小学校と中学校は違うんだけれども、中川小学校の統合している子
ども達の様子、あるいは受け入れる子ども達の関係、そういうところの中で、統合したい
わゆるメリットというものをきちっと精査しておけば、桧木内と西明寺との話し合いの時
にも統合すればこういうことが実際あるんだよということを伝えて良いと思うので、ただ
角館の場合は中川とうまくいったではなくて、その後のことがどうなっているかというの
をずっと検証していかなければいけないのではないかなと思ったわけです。

(熊谷教育長)

そこは十分に、私も三浦次長も北浦教育文化研究所の職員が訪問しながら校長先生や学
担の先生方ともよく保護者も含めて十分に対応していきたいと思います。

(熊谷教育長)

次にその他の時間とします。

はじめに、いじめ・不登校対策についてお願いします。

(米澤北浦教育文化研究所所長)

3月は1か月間臨時休校でありましたので、いじめ・不登校の報告は受け取っておりま
せん。

(熊谷教育長)

次に教育委員会定例会会議録のホームページ公開について説明をお願いします。

(朝水教育次長兼教育総務課長)

令和2年第2回仙北市教育委員会定例会の会議録をご覧ください。ホームページ公開に
ついてですが、字消し部分は削除し、アンダーライン部分を追加書きし、その他の部分は
そのまま市ホームページに掲載させていただきます。

—資料により説明—

誤字や脱字、お気付きの箇所等ございましたらご連絡くださるようお願いいたします。

(熊谷教育長)

お気づきの箇所等がありましたら、朝水次長へ連絡してください。

その他、何かありますか。

(佐々木教育次長兼生涯学習課長)

生涯学習課からその他の報告として1件、ご報告させていただきます。仙北市外ノ山テ
ニスコートの一時使用中止についてご報告いたします。生涯学習課の所管する指定管理施
設のうち仙北市体育協会と委託業務を締結しております仙北市外ノ山テニスコート、勤労
青少年ホームの敷地内にあるテニスコートでございますけれども、その管理業務に関しま
して、先日、4月13日付けで体育協会長の佐々木達さんよりその一時使用中止につい
ての協議がありました。協議の内容といたしましては昭和58年にテニスコートが建設され
たわけですが、それから37年が経過して、そのテニスコートのハードコート面の
表面にひび割れまたは各所におうとつが点在してまして摩耗損傷が非常に激しい状態に
なっています。当面、テニスコートの全面改修については指定管理者の方からも報告があ
りまして、ここ2、3年、当初予算の方にも計上してございましたけれども改修費が300
0万円から5000万円と非常に高額な経費がかかるということと利用者数等を色々鑑み
まして、なかなか査定の対象になっていないというのが現状となっているわけございま
すけれども、また市の実施計画にも組まれていない施設ということでありまして、なか
なか整備されるにしても数年は先になると思われるということでございます。そのことか
らいたしましても、とにかく利用者の安全性を考慮することが第一だろうということで当分

の間テニスコートを一時使用中止という形で取り扱わせていただけないかというような協議でございました。このことにつきましては、同じく体育協会から仙北市ソフトテニス連盟にも同じ内容で4月13日に協議がなされております。そして、テニス連盟の方からは翌日の4月14日に事情を十分理解しているということで承諾書が提出されています。市といたしましてもこのことを非常に重く受け止めてまして、この後いろいろ検討を重ねて参りますけれども、テニスコートの改修に関しましてはなかなか時間がかかるのではないかと考えておりまして、市の財政事情もありましてすぐ改修工事ではできないのではないかなという判断から、しばらくの間この体育協会の協議に関しまして一時使用の中止については承諾する方向で現在調整しておりますので、途中報告ではありますがご報告とさせていただきます。

(安部教育長職務代理者)

教育委員会の管轄ではないんですが、前にもこの場でお話した生保内公園の遊具についての要望をしまして、これは別な管轄だということではありましたがけれども、その遊具は危険だったのとということで解体を始めています。その後、市民の要望としては子ども達が遊べるようなものを設置してほしいと、そのことについては見通しが私はちょっとよくわからないので、教育委員会としてというか、これは設置する分については何ら反対するものではないと思うので、関係の部署に要望といたらいいのか希望というか、お願いできれば、いろんなところからそういう要望があればさらに予算がつけなきゃいけないなというように思ってもらえるんじゃないかと思って。幼稚園もPTAも要望はするとかという話は聞いてはいますけれども、ただ解体して安全だ、遊べと言われても遊ぶものがないわけですから、やっぱりそれは教育委員会は管轄ではないんだけど何らかの形でバックアップしてほしいなという要望です。

(佐藤教育部長)

公園となれば建設課の都市計画係だろうと思います。それと児童館等にある遊具については福祉事務所の子育て推進課になろうかと思っておりますけれども、いずれ私も幼稚園となれば教育委員会としても当然関わりが出てくるところだと思いますので。

(安部教育長職務代理者)

一番、幼稚園ぐらいの子どもが利用しているんですよ。

(坂本委員)

幼稚園ではないんですよね。

(安部教育長職務代理者)

幼稚園ではないです。公園、生保内公園のことです。

(佐藤教育部長)

その辺のところは全体的な関わりの中でぜひ安部教育長職務代理者の内容はお伝えできるかと思っておりますので。

(安部教育長職務代理者)

要望してほしいということです。

(坂本委員)

昨年度の中学生の英検の3級以上の合格者数、分かりましたら教えてください。

(米澤北浦教育文化研究所所長)

後ほど、ご報告させていただきます。

(熊谷教育長)

それでは、以上で令和2年第6回仙北市教育委員会4月定例会を閉会いたします。

(閉会宣言：午後2時49分)